

# 島の教え「フーグァ」 で心つながら

## 天城町出身 順田さん 岡山の小学校で講演&ライブ



昨年順田さんが発表「福をもらたす子」をした曲「フーグァ」 島口で歌われている

### 思いやり、優しさ、感謝 子どもたちに「気づき」も

【東京】子どもと子どもを取り巻く大人たちに伝えたい「天城町出身でシンガーソングライター／セラピストの順田ひろみさんがこのほど、岡山県岡山市立芳泉小学校坂根清貴校長児童1448人に招かれ講演会とライブを行った。ぬくもりにあふれた島の人々の暮らしや絆を紹介したほか、心身の発達の違いや育てにくい子は神様がいて生まれてくる「フーグァ(福の子)」と呼ばれ、みんな大切に育てると家や村が栄えるという徳島の教えを歌った曲をライブで披露。順田さんの語る「フーグァ」の意味や島にまつわるエピソードは、子どもたちの心に感謝や思いやりの気持ちを改めて思い起させてくれた。

が、その歌詞の意味と明るいメロディー、温かみのある順田さんの歌声が聴く人を惹きつけ、じわじわとファンを増やし続けている。近年では徳島の小学校などでの講演をはじめ、県外や海外からのオファーもあり、注目度が高まっている。

750人もの児童を前にした講演となったが、一人ひとりの心に「フーグァ」を通じた島のぬくもりを伝えた順田さん(中央)

そのうち、今回の講演会は、順田さんの友人が坂根校長に贈ったCDがきっかけで実現した。「フーグァ」の歌に感銘を受けた坂根校長は、市教委から指定を受けて実施する「はぐくむ心 あつたかハート事業」の一人の生き方に学ぶ講演会講師として順田さんを推薦。講演会当日は、4、5、6年生約750人のほか、保護者も観覧に訪れた。順田さんは徳島の島について、自分の親だけでなく、地域の人たちも親のように子どもを

見守り、育ててくれる土地柄であることを紹介。人に恵まれてきたことを感謝と共に振り返り「一人に恵まれやすい人の特徴は『自分が人にしてもらったことを良く覚えてる人』だ」と思う」とし、児童に向けて「自分がしてもらったこと」を10個考えて発表してもらうことを提案。

「トイレをきれいにしてくれた」「お母さんが悩みを聞いてくれた」などのほか、隣にいる友達を立たせて「いつも遊んでくれる」とうれしそうに発表する子どもも。児童はそれぞれ「一人にしてもらったこと」を思い出し、会場で温かい気持ちに包まれていた。

「フーグァ」の歌詞の意味を伝えて歌ったライブでは、順田さんが歌に合わせ手を振ると、児童も立ち上がり手を振るなど、会場は一島の日常にある人とのつながり、コミュニケーションの心にしつかりと届いたようだった。講演後、順田さんのもとには「当日の歌と話に子どもがとても喜んでくれた」「歌の意味が後からじわじわ心に効いてくる」などとお礼のメッセージが保護者からも届いた。順田さんは「1時間というまとまった時間をいただけただけで、教育にかかわる大人



140年の歴史を胸に吉田校長から卒業証書を受け取る武田君

同校は現在、卒業生を含めた小学生が2人、中学生4人で、新年度の入学生、転入生は5人と、5人との予定は、5人となる。



### 水田残る

児童と住民  
今年で6回目。今年で6回目。「もつと深く土に植えない」と「苗を倒さないように、倒れる時は後ろに」と下級生に

### アニソンカーニバル 名瀬公民館で22日に

アニソンカーニバル「アニソン好き」のルイム公民館が22日、奄美市の名瀬公民館である。主催するNPO法人アマミナナの川元一生さんと松原かな子さんが13日、奄美新聞社でイベントを告知した。アニソングのメロディを披露。大に盛り上がったと

出演条件は「アニメ・特撮が大好きな人」。主催者は「一人では恥ずかしいという人でも、友達同士や親子で気軽に参加してほしい。来場者も一緒にイベントを盛り上げてほしい」と呼びかけた。時間は午後5時半開場、同6時開演。出演は無料だが、カラオケの音源は各自用意。入場料は100円。参加申込み

「フーグァ」の歌詞にあるように「子どもに温かいまなざしを向けることが大切。みんな育てる島のコミュニティの力が、もっと見直されていいのでは」と語り、「歌を通して、子どもと、教育にかかわる大人